におけるがいをとするののにする

（）

１　この（「」という。）は、をとするののに（2565）。「」という。）10１のにづき、また、をとするののにする（27２24）にして、７にするにし、、のの（「」という。）がにするためになをめるものとする。

（ないの）

２　は、７１ののとおり、そのはをうにたり、がい（がい、がい、がい（がいをむ。）そののののがいをいう。じ。）をとして、がい（がいび社会的障壁によりにはになをけるにあるもの。以下じ。）でないとなをすることにより、がいのをしてはならない。これにたり、は、ににするものとする。

　　なお、、「ましい」とされているは、それをしないであっても、にとされることはないが、（45年84）のなびのをまえ、できるだけりむことがまれることをする。（３においてじ。）

（の）

３　は、７２ののとおり、そのはをうにたり、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにがでないときは、がいのをすることとならないよう、がいの、びがいのにじて、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

（の）

４　は、２び３にげるにし、がいをとするのをするため、のにげるをしなければならない。

　（1）　のをじたにより、がいをとするのにし、のをし、がいをとするのにするをめさせること。

　（2）　がいからない、のにする、のしがあったは、にをすること。

　（3）　のがされた、にして、のをにうようをすること。

２　　は、がいをとするにするがじたには、かつにしなければならない。

（の）

５　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするため、にをし、がしたをとする。

２　のがをけるは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールにえ、がいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　1のにせられたは、にし、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　、のはめる。

（・）

６　は、がいをとするのをるため、にし、な・をうものとする。

　このは、28４１からする。

におけるがいをとするののにするにる

１ ないのなえ

は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。

ただし、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいに対するのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、がいを、となるはについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２ なのの

なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

は、ながあるとしたには、がいにそのをするものとし、をることがましい。

３　ないの

ないにたりるはのとおりである。なお、２でしたとおり、ないになるかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（ないにたりる）

　　ア　がいをにをする。

イ　がいをにのをしにする。

ウ　がいをにの、の、パンフレットのをむ。

エ　がいをに、シンポジウムへのをむ。

オ　・の、にではないにもかかわらず、がいをに、・のにきいのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、きいのをんだりする。

　　 カ　がいをにのの、、、の、、、のをむことや、これらをまないわりとしてなのないをす。

キ　においての（）をけたことをに、のをのからしたり、においてをつける。

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのは　　をうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

は、はの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。

２　は、がいのやのがめられるやにじてなり、かつのいものであり、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、「５　なの」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとする。

　　なお、をとするがいがまれる、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとし　ているにあることを（をむ。）のほか、、、、のやりやサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

　また、がいからののみでなく、がいやがい（がいをむ。）によりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のをみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、にりむことがましい。

４　は、がいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

５　がそのはのとしてするをにするは、されるのにきながずることによりがいがをうけることのないよう、のにをまえたのについてりむことがましい。

５　なのな

　　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいにそのをするものとし、をるようめることがましい。

　ア　はへのの（はの、、をなうかか）

イ　の（・、・の）

ウ　・の

６　の

　４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては次のようなものがある。

　なお、したについては、5でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

　（にたりるへのの）

ア　があるに、にキャスターげのをする、スロープをすなどする。

　イ　のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをりやすくえる。

　ウ　のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。

　エ　がいのにより、にのがあるに、のをにする。

　オ　をじやすいがいからでののしがあった、スペースをける。

　カ　によりをさえることがしいがいにし、がをさえたりバインダーのをしたりする。

　キ　やがした、でのをくことがしいがいにし、きのボードをいて、かりやすくしをる。

　ク　ののためにの・のにをけてをする、がなのためにりののをらすなど、のごとににじてをえる。

　ケ　をう、のへの、やでのパソコン、をうのでのをする。

（にたりるのの）

ア　、みげ、、などなコミュニケーションやかりやすいをってをするなどのをう。

イ　のから、えにくさにじたの（くことでができる・やコピー、はをいた、くのものやきのいものなどることができないものをできるやの）、こえにくさにじたなの、えにくさとこえにくさのにじたにじたの（のひらにをいてえる）、がいにした情報の（えるのをする、にルビをる、やのりにをんでする「かちき」にする、なじみのないはける）をう。

ウ　がいのあるにし、なではなく、なをうこと。えば、サービスをけるの「」や「」などなのをにして、がしているかする。

エ　だけをいてすることやがながいにし、やカード、コミュニケーションボード、タブレットＩＣＴの、にえるためのの、を「はい」は「いいえ」でにえられるようにすることなどによりをしたり、の・をしたりする。

　オ　のに、をののでしたり、かりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。

　カ　をながらをくことがなはにがいのあるやがいのあるにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。

キ　ががいはのがいのにったサポートをう、なでのをう。

　（ルール・のなの）

ア　をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。

イ　ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。

　ウ　スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。

　エ　をにいへする。

　オ　のにおいて、がいのがまれる、、がい

とされていないをがいのにする

　カ　との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにじてをする。

　キ　はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

　 ク　きのに、やがのをう。

ケ　やにおいて、・の、がいのをまえ、での、の、や、みげのをする。

コ　や、みげをしてするのために、でする、、をはしたものやテキストデータをにす。

サ　のあるにし、ののに、・のにじてボールにおけるボールのきさやげるをえたり、におけるるをくしたり、スポーツのをしたりする。

シ　にケアをするにし、がなもあることなどをめ、をするにはがあることにして、やがにをけているとのをり、のやなをにし、にのをしないようにする。

ス　なのためにのとじようにができないにし、をしたり、できるをしたりするなど、のをし、にはすることなく、するためのをする。

セ　のためできないがじるにし、をうなど、をするをする。

ソ　み・きにのあるのために、やでのタブレットのＩＣＴをしたり、にえてによるをったりする。

タ において、なのにがあるのために、ななどにおいてグループをするには、にえたり、によってはのをしたりする。また、こだわりのあるのために、しいやなどのにおいて、をえることにをするがあることをして、をにしたりにしたりする。

チ　がいのためでのがなにし、としてレポートをしたり、をしたものでをったりする。